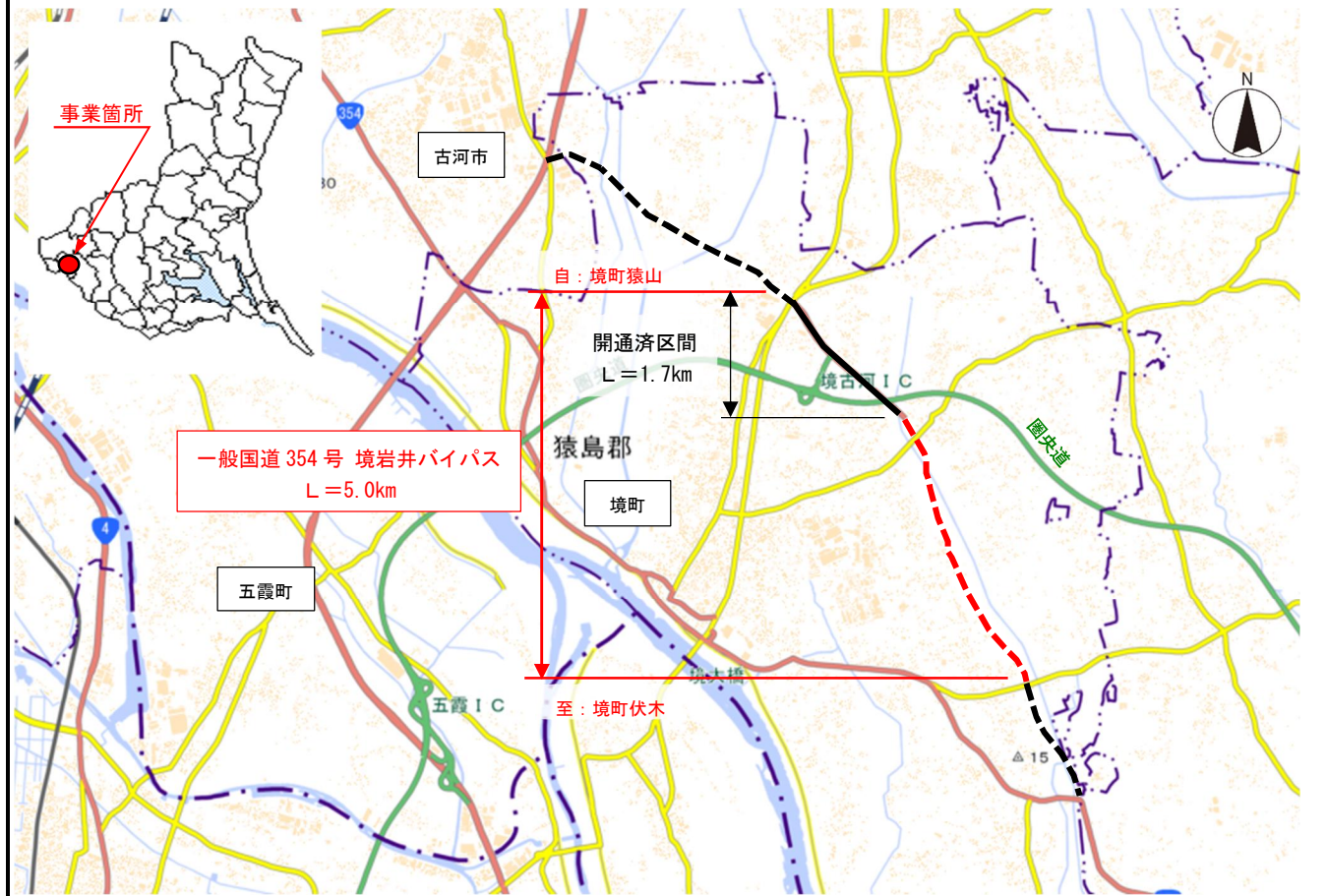


再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担当課:道路局 国道・技術課

担当課長名:西川 昌宏

事業名	高規格 IC アクセス 一般国道354号 境 岩井バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	茨城県	
起終点	自：茨城県猿島郡 境 町猿山 至：茨城県猿島郡 境 町伏木				延長	5.0km	
事業概要							
一般国道 354 号は、群馬県高崎市を起点とし、茨城県の南西部から鹿行地域を横断する広域的な幹線道路である。 本事業は、境町の中心市街地における交通混雑の緩和を図り、交通の円滑化を図るとともに、圏央道境古河ICへのアクセス機能の向上を目的として、猿島郡境町猿山～坂東市生子までの約6.3kmのバイパス整備を行うものである。							
H13年度事業化		H13年度都市計画決定		H16年度用地着手		H18年度工事着手	
全体事業費		約94億円		事業進捗率	約78%	供用済延長 1.7km	
計画交通量		7,600～12,000台／日					
費用対効果 （参考） 果 分 析	B/C （事業全体）	EIRR （事業全体）	総費用 （残事業）／（事業全体） 25/125 億円		総便益 （残事業）／（事業全体） 276/276 億円		基準年
	2.2	8.5%	（事業費： 19/ 119 億円）		（走行時間短縮便益： 240/ 240 億円）		令和6年
	3.4 [2%]		（維持管理費： 6.2/ 6.2 億円）		（走行経費減少便益： 35/ 35 億円）		
	4.4 [1%]		（更新費： - / - 億円）		（交通事故減少便益： 1.3/ 1.3 億円）		
	（残事業）	（残事業）	感度分析 （事業全体）		（残事業）		
	10.8	91.1%	交通量	B/C=2.0～2.4（±10%）	交通量	B/C=9.6～11.8（±10%）	
	14.0 [2%]		事業費	B/C=2.0～2.4（±10%）	事業費	B/C=10.0～11.6（±10%）	
16.1 [1%]	事業期間		B/C=1.9～2.2（±20%）	事業期間	B/C=10.4～11.9（±20%）		
事業の効果等							
・ 圏央道境古河 IC へのアクセス機能の向上が図られる。 ・ 境町市街地をバイパスさせることにより、現道の通過交通が減少し、歩行者の安全な通行に寄与する。							
関係する地方公共団体等の意見							
沿線自治体で構成される「国道354号整備促進協議会」から、本事業の早期完成の要望活動が行われている。							
事業評価監視委員会の意見							
事業継続を妥当と認める。							

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 周辺環境等に特に変化はない。	
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地進捗率約98%、事業進捗率約78%	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、道路改良工事を推進していく。	
施設の構造や工法の変更等 土工における土量の過不足について、近傍で実施している他事業と工事間流用を調整することにより、コスト縮減を図る。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。	
事業概要図	
	

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。〔 〕内は社会的割引率の値)